

# 令和5年度（第1回）北九州市公共事業評価に関する検討会議 議事録

日 時：令和5年12月26日（火）

10:00～11:40

場 所：市庁舎5階 プレゼンルーム

## 1 事業内容説明について

【再評価】北九州港廃棄物海面処分場整備事業

～事業課から資料9に基づき説明～

## 2 内部評価結果について

～事務局から資料11に基づき説明～

## 3 質疑応答について

### ○構成員

私から2つほど。

まず、本事業については、残容量が少なくなる中で必要な事業だとは認識しております。他方で、13ページのコストの上昇、特に物価の上昇のところはかなり急激だと思っています。

説明資料において、人件費、物価の上昇については別途、説明資料がついているものの、全体の事業費が255億円だったものが、386億円になり、そのうち74億円は物価上昇というのは、この19ページのグラフの上昇曲線とどう合致してみたらいいのかがわからない。その辺りを少し追加でご説明いただきたい。それが1点です。

もう1点はこの埋め立ての後、響灘地区においては、地図にも出てきますが、風力関連の施設の建設なども予定されている地域だと認識しています。

この埋め立てた後の利用方法や今後の計画等があれば教えていただきたいと思います。以上2点です。

### ●事業課

まず、物価上昇の増加額の根拠について、補足説明させていただきますが、前回再評価を行いました平成30年度以降の令和元年から令和5年度までの工事、それから、それ以降の令和6年度以降の工事に関しまして、それぞれの工事の設計金額と、平成30年度の単価及び経費率、そういったものを適用して、算出した設計金額、それらを比較しまして、その差額を積み上げたものが、護岸工事であれば65億円という数字になっております。グラフ、パワーポイントの資料ではお示しはしてないのですが、計算の仕方としてはそういうやり方でございます。

## ○構成員

この19ページの上昇率とほぼ一致するということでよろしいですか。

## ●事業課

はい。

それから土地利用ですけれども、響灘東地区においては、今回の新処分場の場所以外のところも、これまで廃棄物処分場や土砂処分場として埋め立ててきております。

土砂処分場につきましては、ブリヂストンをはじめ、工場の立地場所になっております。

新処分場のところに工場が建つかどうかというのは、現時点では不明ではありますが、そういった産業用地として活用していくものと思います。

それから廃棄物処分場の方につきましては、現在、響灘東地区ではビオトープや風力発電、太陽光発電といった土地利用をしております。

廃棄物処分場は廃棄物が埋まっている関係で、なかなか売却ということにはならないのですが、貸し付けは可能でございますので、将来的にも同じような形で利用されるものと思われまます。以上でございます。

## ○構成員

わかりました。ありがとうございます。

もし売却できるのだったら、売上の見通しなども便益として考えてもいいかと思えます。

## ●事業課

そうですね。今回は国土交通省の方と協議したうえで、埋め立てによってできる土地資産を便益とし、近隣の地価を参考にして計上しています。

## ○座長

それが残存価値ということでよろしいですか。

## ●事業課

はい。

## ●事業課

1点補足ですけど、今、課長が説明した内容の通りですが、最近、港湾計画の改訂がございまして、10年から15年に1回、大きな変更を行うものですが、響灘にこういう処分場ができますと、特に安定型の方は売却地も不足している状況です。そういう土地の活用が見込まれます。企業が張りついたら貨物もそこから発生するということで、今回の港湾計画において、安定型の西側の護岸に岸壁と埠頭用地を計画しました。ホットな話題として補足させていただきます。

## ○構成員

それでは質問なのですが、これから仮に今後事業を進めていくということになった場合ですが、すごく多岐に渡る事業で、細分化された発注になると理解をしますが、その発注の段階でできるだけそのコストを抑えられるような手法ですとか、そういったようなことの検討というのはされておられるのかどうか、教えていただければと思います。

### ●事業課

残りの工事は遮水工事が中心になると思うので、工事発注の仕方としては一緒になると思います。

ただ、毎年度の物価の上昇率といったところは気にしながら工事をしていかないといけないと思っています。

まだ検討中ではありますが、遮水工に関しては、さらにコスト縮減ができないかというところで、追加で検討をやっているところでございます。

### ○構成員

なるほど。そうすると、技術的にいかにコストを縮減するかというところの検討であって、特にその発注方法を工夫すれば、物価上昇への柔軟性が出るというか、主としてコストを抑えられる、それはどこが被るのかっていう問題ありますけれども、全体的な事業費が縮減できたりするということは、発注方法の工夫ではあまり実現することは難しいということなのですか。

### ●事業課

発注ロットとして、最大でも5億円ぐらいを見越して発注しており、それでもかなり大きいと思っておりますが、それ以上にすると逆に工期がどうしても長くなってしまって、冬前に工事が終わらないということになってしまうので、今の発注の形態というのはなかなか変えようがないと思っています。

### ○座長

今、構成員が言われているのは、例えば入札の仕方とか、JVだとかそういうことですか。

### ○構成員

そうですね。はい。

### ●事業課

今の工事のやり方でいくと、2月の末ぐらいに契約をして、工期末が10月末ですので、JVなどを想定したもっと大きな形で契約するとなれば、工期が1月とか2月になってしまい、なかなか施工の方が難しくなってくると思いますので、先ほど言いましたように、最大5億円ぐらいの規模で、それを複数発注するような形で、できるだけ早く完成させる方法を取りたいと考えております。

## ○構成員

わかりました。

## ○構成員

廃棄物処理場は本当に必要な施設なのですけれども、今やっている処分場が完成しても、また何年かして新しく作っていかないと、1回きりとか2回きりで終わらない。

継続的にこういうふうな処分場を作っていないといけないというところがあるので、それに対してのビジョンみたいな、ここら辺をこういうふうにして広域に将来処分場としてやって、そのあと処分場がいっぱいになったら、代替地、土地を有効利用していく長期の計画があるのでしょうか。既存処分場から新処分場がここにできたのを見たときに、何かこう、急にできたようなイメージをぬぐえなかったのです。

そういうことももちろん考えていらっしゃるのでしょうかけれども、もっと何か具体的なものがあればお示ししていただきたい、というのと、もう一つが、二重の遮水シートからこの矢板を使った工法に変わりましたよね。環境に考慮してこういうふうなものになったのはすごく高く評価しているのですが、他のところで矢板を使った処分場を作っている市町村はあるのですか。

海上工事業者にヒアリングを行いながら施工検討を実施した結果ということを書いてありますから、なかなかそういうところは少なかったのかなという印象がぬぐえないので、どういうふうな先進的なことをやっているのか伺いたい。

## ●事業課

まず最初のご質問につきまして、今、海面の処分場を作っておりますけれども、まず海面の処分場を作る場合は、港湾計画への位置付けといった手続きを踏みます。

当初は新門司地区の方で処分場を計画していたのですが、漁業者の方との漁業補償の締結にあたり、10年間ぐらい交渉したのですが、うまくいかなかったため、急遽、響灘地区の方に計画を作り直して、事業着手したという経緯がございます。

従いまして、今、新しい処分場を整備しておりますけれども、その次の処分場については、なかなか海上も適地もないので、広い意味で、陸上も含めた形で次の処分場をどこに作るかというところを早めに検討していくことが必要と思っております。

それから工法の変更が他になかったかっていうことなんですが、実は矢板を使った廃棄物処分場で実際事例があるのは、東北地方の電力関連の施設といったところしかなくて、自治体が行う海面での二重の矢板による遮水工というのは、おそらくですけど初めてではないかと思っております。以上です。

## ●事業課

私の方から、環境局の補足として、今後の処分場の件です。スライドナンバーの5番に航空写真がございます。今の処分場が左側のような逆のL字の処分場で、これが平成10年にできて、もともとの計画上は平成16年で満杯になるだろうということでしたが、今、令和5年なので、20数年間延命化を図ってきました。次に、スライドナンバーの3番を見ていただきたいのですが、これまで私どもは市民の皆さんの協力をいただきながらゴミを減らしてきました。

その結果、ゴミを減らしたり、新門司工場で焼却灰を溶かして出なくするような手法を使ったり、できるだけ処分場の延命化を図ってきたので、新しい処分場ができたとしても、これも努力しながら、長く使っていきたい。

ずっと海を埋め立てるわけにはいきませんので、環境局としては、長めに大事に使っていこうと常に思っています。以上です。

## ○構成員

事業全般に関しましては、実施というところが妥当だろうと思っております。

もちろん、コストが当初より手法の変更などに伴って倍になったりというところがあるのですが、ただ、やはり必要な事業であるということには変わりないだろうと考えております。

ただやはり心配なところとしては、この13年度までに本当に計画通りいくかというところがやはり一番心配です。

初めての施工手法であったり、これまでやってきたことがなかったりするところもありますし、それは北九州市、全国もそうですし、事業者さんも同じような状況だろうと思います。

そういったところもありますし、また北九州市の港湾というところで言いますと洋上風力関連の事業も進んでおりますので、こういった海上での特殊な工事、専門性が高いような事業に対して、やはり事業者がきちんと予定通り実施できるのかということだけが一つ一番心配なところと思っております。

また海上ということで、陸上に比べて環境や天候などの影響を受けやすいと思えますし、説明にもありましたように、同時に施工できる工事量には限界があるというところも言ってらっしゃいますし、そういうところをうまく港湾整備部の方でいろいろ調整したりしてやっていけるとは思いますが、必ずこの期間で終われるように、そこだけはしっかりとお願いしたいと思っております。私の方からは以上です。

## ○座長

ありがとうございます。

それから、今日欠席の構成員の方々からは、今、同じようなご指摘ですけど、これ以上事業期間が延びないようにしていただきたいということと、必要性とかコストについて十分に市民にわかるようにして取り組んでいただきたい。市民にわかりやすい説明を、ということでございました。

今日構成員の皆様から意見をいただきましたけど、基本的に必要性については皆さんご理解をいただいて、この事業について特段の違和感はなかったと思えますけど、やっぱり気になるのがコストのところ、私から一つ質問させていただきます。

14ページでいうと、平成25年度に事前評価で、平成30年度に再評価をしている時点でかなりのコストアップがあります。

その意味では、事業としては大幅なコストアップを2回していることになります。

この辺りが構成員の皆さんも気になることだと思いますし、市民の方々も気になるのはやはりこのコストかと思えます。内部評価のところでもありましたが、コストのそもそもの考え方とか、あるいは、それに対するリダンダンシー、柔軟性のこと、

それから説明の仕方は十分気をつけておかないといけないと思います。

同じ意味で5ページの地図を見ますと、新処分場二つは港側から見ると突起物が見えるのですが、これは、将来的には横に並べて一つの面を形成する計画があるかと思うのですが、今日の説明ではわかりにくかったと思います。大きなマスタープランというか、長期的な話ではあるかもしれませんが、市としては、これは唐突なものではなくて、こういう方向も踏まえてるんですよという説明をされるとよかったと思います。

## ●事業課

港湾計画では、新処分場の平面図の向かって右手のところに計画がありまして、そこは国の土砂処分場の計画になっております。

## ○座長

大きなマスタープランみたいなものをあわせて説明されるとわかりやすいと思いますし、市民の皆さんに説明されるときもそういう情報も合わせてやられる方がよいと思います。

それでは構成員の皆さん、追加のご質問等ございますでしょうか。

////////////////////////////////////

それでは構成員の皆様からいろいろとご質問いただきました。

必要性については皆さんのご理解をいただいたということでございますので、基本的にこの事業をこの計画で継続していくことにつきまして、構成員の皆さんご異議、ご意見等、確認ですけれどもございませんでしょうか。

(異議なし)

それでは当該事業につきましてこの計画どおり継続していくということを前提として、その上で今、構成員の皆さんからいただいた意見を整理させていただきたいと思っております。

////////////////////////////////////

まず必要性については皆さんご理解をいただいているということですが、やはり気になるのがコストの問題です。昨今のウクライナの戦争のこともありますし、それから大きな技術的な検討というものもあったということで、コストが上がるということについてはある意味で仕方がないこともあります。まずは市民の皆さんにわかりやすく説明するというのを十分に気をつけていただきたい、ということと、もう一つは事業期間ですね。これ以上伸びないようにしていただきたい。

この2点が構成員の皆さんが言われた共通の指摘としますので、構成員の皆さんからの指摘とさせていただきます。

今の2点でよろしいでしょうか。コストと説明ということで、コスト、説明、それから事業期間、この3つですね。

(異議なし)

はい、よろしく申し上げます。ありがとうございます。

また、記載について変更等ございましたら私の方で、座長としてお預かりして事務局と調整させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

これで2点ほど、今日の議題は終了させていただきます。

本日の会議資料、それから議事録につきましては後日、市のホームページに掲載することになります。

議事録につきましては私の方で事務局と調整させていただきたいと思います。

最後ですけども、今後の予定について事務局の方から説明をお願いします。

### ●事務局

今後の予定といたしましては、本日の検討会議の意見を踏まえまして、市が対応方針の案を作成いたしまして、その後パブリックコメントの手続きに入らせていただきます。私からは以上でございます。

### ○座長

それでは検討会議を終了させていただきたいと思います。

ありがとうございました。